

平成24年度 第Ⅱ期 実習報告書のまとめ

山梨県薬剤師会
薬学生受入対策委員会

① 感想

- 6年制になり初めての受け入れと言う事もあり、最初はとても緊張した。その後、カリキュラムの進め方を把握するとスムーズに実習を終える事が出来たと思う。
甲府市薬剤師会が主体となって集合研修をして頂けたので、調剤薬局では希薄な部分を網羅してもらえてとても感謝している。
実習生を受け入れることで、自分を含め勤務薬剤師のいい刺激になったと思う。また新たな発見もさせて貰ったりと、良い面が沢山あった。日常業務との兼ね合いが難しい時間帯もあったが、テキストも駆使し、なんとか全SBOsを無事終了することが出来て良かったと思う。
- 基幹薬局としての受け入れは初めてだったので事前準備の不備やスケジュール調整など課題は残ったが、忙しい中にも充実した毎日だった。
- 初めての受け入れとのことで右も左もわからない状況だったが、何とか終わることができたというのが率直な感想である。指導薬剤師と名前はついてはいるが、こちらも学ぶところが多々あり、これを次に活かしていきたいと思う。
- 大学においても自宅でも毎日しっかり予習復習され、この実務実習を実のあるものにしていただけたと思う。ややもすればこちらが教えられる部分もあるのではないかと感じるところもあった。最新の設備と大学のモデル薬局と現実の街の薬局の調剤室も理解してもらった。
- 2名同時受入であったが、同大学、同性であり薬局側からみれば大きな問題はなかった。今後、2人同時受入の際、異なる大学・異性・学生もモチベーションの違いとなった際は、それなりの対策が必要と感じた！学生と薬剤師でSGDなども行え1人の学生の時よりも充実した内容ができたこともあった。
- 非常に意欲的で積極的に質問等もあったのでやりやすかった。同じ大学だったので協力し合いながらコミュニケーションをとりながら出来たので、同時2人の学生でも負担を感じなかった。
- 今回、2人の実習生はとても真面目な学生で指導しやすかった。積極的に学ぼうとす

る姿勢が見られ良かった。

- 病院で実習を先にされていたこともあり、スムーズに実習ができたと思う。今回は特に気になる点は無い。
- 今回、2人の実習生をむかえて2日間と短い間だったが、自分も含めて一緒に勉強する時間がつくれて有意義だったと思う。実習生の感想も聞いて、その要望を含めて、もし次回もあるならさらに良い実習ができたらと思う。
- 今回の女性ふたりとも、活発で手際もよく良い印象を受けた。
- 服薬指導を担当したが、場所が狭く、2名同時にできないため、調剤業務と交互になった。実習も終了近くなり、かなり頼もしく感じられた。

② 問題点と今後の課題

- 2名同時の受け入れを行ったのは今回が初めてだったが、思った以上に店舗に負担があったと感じた。学生が優秀であり、集合研修で薬局外へ出る機会があったのでなんとかやっていたが、今後は1名ずつの受け入れを行うべきだと考えている。
- 「実習終了の報告書」を実習終了薬局に記載している事と思うが、そこで出た問題点を今後の受け入れ予定薬局にフィードバックして頂けたらと思う。ここで列挙された問題点がどう生かされているのかが不明。
- ○○薬局の指導薬剤師の方が積極的に集合研修を準備、進行してくれたお蔭で我々としてはとても助かったが、指導薬剤師の方は、時にはカリキュラムを組み、変更があれば都度連絡をくださり、また時には実習生の移動に引率したり、足になってくれたりと、とても大変だったと思う。
- 当店は皮膚科に特化した薬局のためにアイテムが少ないので7ヶ所の協力薬局にお願いしてスケジュールを作成したが、細部のチェックや確認等が周知できなかった部分もあり、消化できなかった項目や評価のバラツキもみられた。
- 2名同時受入、集合研修の費用
- 薬局間で実習内容に差が出る点。薬局製剤、漢方、OTCなどのカウンター実習、在宅などが手薄になる感じが否めない。
- もっと多くの時間を側についてやれば良かったと思いますが、なかなか現実の中

では自習をしてもらう時間がでてしまい申し訳ないと（少し）思う。

- 協力薬局への移動が学生に負担になっていないか少し心配になった。今回は同性でしたが、これが異性になるとお互いのコミュニケーション等がどうなるか不安。
- ある程度は理解してもらえていると思うが、どこまでの理解で良しとすればよいか判断に悩んだ。
- OTCの勉強に関してテストは自社のものを利用したが、それで問題ないか、共通のものがあれば用意してもらいたい。
- 患者様への接遇の指導ができなかった。余裕をもってできる時間をとりたい。
- やはり基幹薬局の負担が大きいと感じた。当地域でも基幹薬局の増が当面の課題である。基幹薬局の負担軽減のために協力薬局の整備（実施できるLSのリスト作成など）を進めていく必要があると思う。

③ 問題点・課題の改善点

- 問題ない学生への大学教授の訪問は必要なのだろうか？
オンラインでの実習報告書はとてもスムーズであり、到達していないSBOsも解りやすく良かった。薬剤師会が主催する夜の勉強会への出席もさせて貰った。薬剤師の日々勉強という部分を周知させる意味でも、また、薬局内だけでなく外に連れ出す事でのスタッフ間のコミュニケーションにもなり良かったと思う。もっと積極的に参加アピールしてはどうだろうか？
- 集合研修のお誘いを受けて2回とも参加したことは学生にとっても良い体験になったと思う。県全体で活動しているような行事なども取り上げて頂けるとありがたい。
- 必要な集合研修は続けて行くべきだが、必要のないものは改善・短縮・廃止など行うべきだと思う。
東京薬科大学の受け入れと重ならない様にしたいです。
- 学薬は県薬で行ってくれますが、指導薬剤師を付添いとしてとられると通常の薬局業務がまわらなくなり、連れて行きたくても連れて行く術がない。甲府まで遠いので郡内でも行っていただきたい。
- 地域として何回かの会合で会の方向性や現状の空気、仲間意識等感じてもらえたと思

うし、こういう事は今後大切な部分だと思った。県薬でも合同の会合等をしてもいいのではと思う。

- 基幹、協力薬局のモチベーションの維持。地域間、薬局間での実習内容の質の格差の拡がり。施設間の移動。
- 面倒だと思うが学生の性格等の情報があれば指導しやすいのではないかと思う。
- 具体的な指導項目があればポイントを絞って指導できることもある。OTCの指導だけだったのでその他の指導、修得状況も事前に参考に連絡をもらえると助かるのでは？
- 忙しい調剤の中なので時間の配分を計画しておくようにしたい。

④ 協力薬局の感想・問題点と改善策

- 集合研修と言う形で〇〇薬局の指導薬剤師の方が架け橋となり連携して貰えた事でとても助かり、感謝している。また協力薬局では、調剤薬局では体験できない部分の補足をして貰えた。
実習生の話で、特に〇〇薬局様の漢方は印象に残っていて、楽しかったと言っていた。
- 集合研修はおおむね満足してもらえた様である。それ以外では協力していただいた薬局は無し。山梨県内のチェーン薬局なので他店舗での実習も行った。学生にとって有意義だったと思う。
- 今回は当薬局で完結しました。
- 何軒もの協力薬局の先生方にご協力いただいたことに対し、本当に感謝したいと思っている。
- 協力薬局に新たに加わって頂いた所もあり、今後も続けていってもらえたらと思う。
- 指導する箇所を協力薬局同士で分担することで負担が減って非常に助かりありがたい。
- 調剤指導の担当の方と情報交換できる時間も少しあると良いかなと思う。
- (実習生の)身だしなみ、言葉づかいが良かった。

- 当地域では基幹と協力薬局の連携の実績があるので、円滑に協力薬局としての受入が出来た。
- 当薬局での実習は2日間だけでしたので、小児科門前薬局として特色のある調剤・服薬指導を学んで頂いた。実習後期だったこともあり、基本的な事柄は基幹薬局や他の協力薬局でしっかり学んでいて助かった。
 前回実習の時には進捗状況メモが回ってきたが今回は無かったので、パソコン上で指導内容を確認した。実務実習指導管理システムが昨年使用した物と同じだった為、戸惑うことなく操作できたことは良かった。各大学が同じシステムを使って実務実習を行うようになるのととても良いと思う。
- 当地域では、薬学実習生の受け入れを積極的に行うため、実習項目をすべて学び、体験できるように協力体制を組んでいる。
 当薬局は昨年と一昨年は基幹薬局だったが、今回は協力薬局として実習を行った。
 自分が基幹薬局であった時と違い、今回基幹薬局を務められた△△薬局の指導薬剤師の先生が全期間にわたり、綿密なスケジュールを立ててくださり、それに沿って実習を行えば良いように準備して下さったので、自分がいつ、どの項目を行えばよいかを実習前から確認でき、とてもやりやすかった。
 当薬局で担当したのは、OTC、セルフメディケーション、服薬指導、顧客対応が主で、その他、大型の調剤機器の操作や、インスリン製剤の取り扱い、高度管理医療機器についても学んでもらった。学校薬剤師の職務として担当校の薬物乱用防止教室「たばこの害」の授業でアシスタントを務めてもらうなど、大学では学ばないであろう幅広い薬剤師の職能を体験していただくことができたと思う。
 一つ残念なことは、連絡ツールとして開発した、「SBOs(到達目標)進捗メモ」が十分生かされなかったため、複数の薬局が同じSBOを繰り返し行った場合、前の薬局が行った実習の内容がわからず、学生自身に確認を取りながら進める形になってしまったことである。来年に向けての一つの課題と言えるであろう。
- 準備にあまり時間が取れなかった。
- 患者様の数が少ないため、実践的な実習が難しかった。一人薬局なので、来局患者様によっては時間がかかってしまい、それが急な場合だったりすると、実習が中途半端なまま中断することになってしまう。
- 実習生の日誌をもう少し頻繁にチェックしておけばよかった。そうすれば、全体の実習内容の把握と、実習生を理解する上で役に立ったと思う。
- 改善策としては、

- ① 準備の取りかかりを早め、もっと時間をかけるようにする。普段の業務の中で少しずつ実習のネタをさがしておくのも薬に立つと思う。
 - ② 来局予定患者様を調べて考慮した上で、実習内容を考える。
 - ③ 実習生の日誌が今回のようにチェックできる場合はこまめにチェックし、実習内容の進み具合を把握するようにする。
- などが挙げられる。

実習生アンケート

長期実務実習 第Ⅱ期(平成24年9月3日～11月18日) 6施設7名

病院実習 未:0 済:7

①今回の実習はあなたのニーズにマッチしましたか？

最低 1	2	中程度 3	4	最高 5
			3	4

②指導薬剤師から受けた指導時間についてどうでしたか？

物足りない 1	2	中程度 3	4	充分 5
			1	6

③大学での事前学習・講義などと実習での相違点はありましたか？

なし	あり	未記入
4	3	

④自分で思い描く薬剤師像と実際の薬剤師像とマッチしていましたか？

かけ離れていた1	2	中程度 3	4	合っていた 5
		1	1	5

⑤今回の実習を終えて、卒後の進路希望について変化はありましたか？

なし	あり	未記入
4	3	

⑥主に実習を受けた薬局の指導薬剤師の対応はどうでしたか？

悪かった 1	2	中程度 3	4	良かった 5
			1	6

⑦今回実習を行った他の薬局等での実習はどうでしたか？

悪かった 1	2	中程度 3	4	良かった 5
			3	4

⑧今回の実習が今後(在学中、卒業後)に役立つと思いますか？

役立たない 1	2	中程度 3	4	役立つ 5
				7

コメント部分について

③大学での事前学習・講義などと実習での相違点はありましたか？

＜あり＞ 3名

- ・服薬指導、薬歴、カウンター実習
- ・OSCEと実際の患者さんの接し方
- ・OSCEでの服薬指導(時間制限有り、クローズクエスチョン)に対し、実際の患者質問、服薬指導(オープンクエスチョンが良いとされてる)

＜未記入＞ 0名

⑤今回の実習を終えて、卒後の進路希望について変化はありましたか？

＜あり＞ 3名

- ・病院又は薬局 → 薬局
- ・未定 → 調剤薬局
- ・病院 → 薬局

＜なし＞ 4名

⑨今後の実習をより良いものにするためにお聞きします。

- この実習の良かった点、悪かった点、その他気付いたこと
- ・実習先の薬局だけでなく様々な施設が見れてとても勉強になった。

・忙しい業務の中、丁寧にご指導していただき将来に役立つ有意義なものとなりました。集合研修でも様々な薬局をまわらせていただき、バラエティに富んだ内容の濃い実習でした。カウンター実習等、参考になることがたくさん経験できました。

・丁寧に教えてくれてとても良かった。質問に対しても分かりやすく教えてくれた。

・自分の将来について考えることができました。また、他の薬局へも実習へ行かせてもらったことで薬局の違いやそれぞれの特徴、薬剤師による違いも感じることができました。実習で学ぶことはとても多かったです。

・たくさんの先輩薬剤師のお話を聞け、勉強になった。他薬局についても知る事ができ、就職を考える助けになった。優しく楽しい人が多く、気持ち良く実習ができた。他薬局に行くときにナビがないので地図で向かっていたが、時々道に不安になることがあった。

・一つの薬局だけでなく、いくつかの薬局に行くことができ、自分がどんな場所で働きたいのか明確になりました。